

# 港湾事業及び道路事業の連携による農林水産物・食品の輸出促進

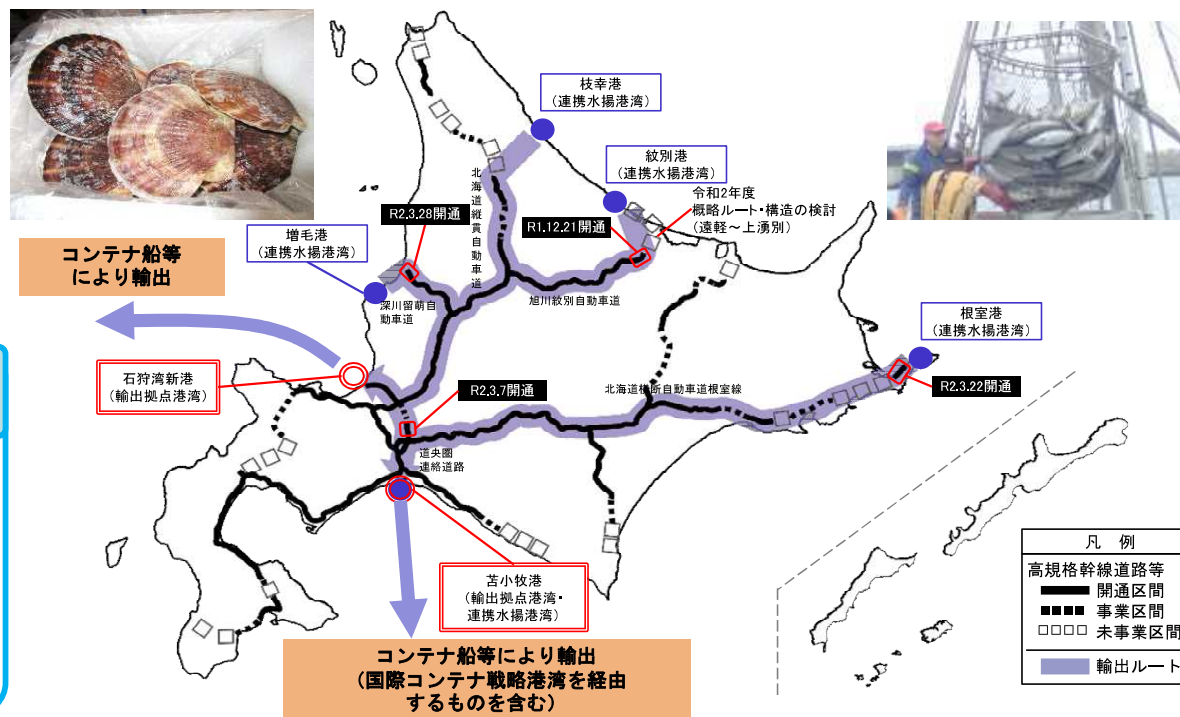
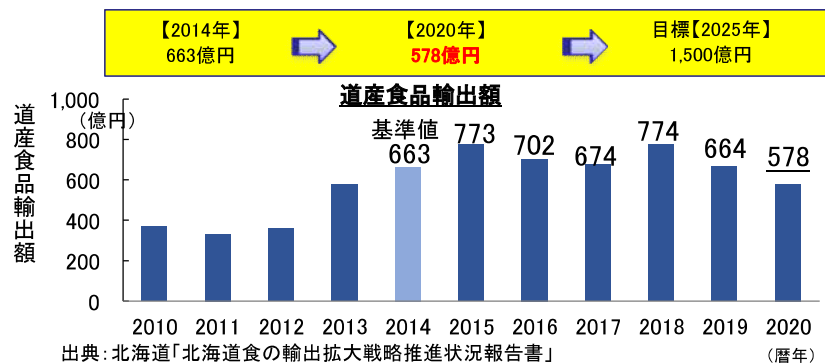
- 新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取り組む港湾において、輸出促進に資する港湾施設の整備を推進するとともに、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進する。

## 【現状・背景】

- 道産食品輸出額の2025年目標1,500億円の達成に向けて、北海道の「食」の高付加価値化・競争力向上と効率的な輸送体制の構築が必要。
- 水産物を取り扱う港湾において、鳥害、日射等による水産物の品質低下が課題。
- 高規格幹線道路等が繋がっておらず、水産物の輸出拠点港湾までの輸送ルートはアクセス性が課題。

## 【取組】

- 屋根付き岸壁の整備により、水産物の鳥害、日射等による品質低下を防ぎ、商品価値を向上させることで、輸出競争力の強化を図る。
- 連携水揚港湾と輸出拠点港湾を結ぶ高規格幹線道路等の整備を推進する。



**輸出拠点港湾**  
(苫小牧港・石狩湾新港)

小口貨物積替円滑化支援施設  
小口貨物積替円滑化支援施設等の整備により、輸出環境を改善。(整備済み)

**連携水揚港湾**  
(苫小牧港・紋別港・根室港・枝幸港・増毛港)

屋根付き岸壁の利用状況イメージ  
屋根付き岸壁の整備により、商品価値を向上させ、輸出競争力を強化。